

技術の名称

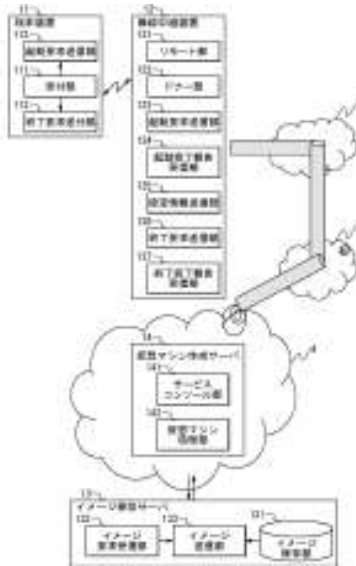
マルチホップ通信システム

適用分野

WiMAXとLTEによるマルチホップ通信

- 目的 マルチホップ通信システムにおいて、各ホップのリモート部に対応する制御装置の追加導入を不要として設備投資の削減を目的とする。
- 効果 本発明によれば、各ホップのリモート部に対応する制御装置の追加導入が不要となるとともに、他の通信業者のコアネットワークに接続する場合にも新たな制御装置の導入が不要となるために、設備投資の大幅な削減が可能となる。
- 技術概要 本発明マルチホップ通信システムにおいては、端末装置11または無線中継装置12のドナー部と無線方式Aで通信を行うとともに、基地局または無線中継装置12のリモート部と無線方式Bで通信を行っており、無線方式Aのサービスに必要な各制御装置の仮想マシン4の起動要求を仮想マシン作成サーバ14に送信し、その起動要求の送信に対して仮想マシン作成サーバ14から仮想マシン4の起動完了の報告とともに仮想マシン4と通信するための通信先を示す通信先情報を含む起動完了報告を受信し、その各起動完了報告が持つ通信先情報を含む設定情報を通信先情報に対応する仮想マシン4以外の他の仮想マシン3、2に送信している。

■ 特記事項、図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 無線中継装置、仮想マシン作成サーバ、無線中継方法、および仮想マシン作成方法
登録番号 :
出願番号 : 特願2011-061895 出願日 : 平成23年3月22日
公開番号 :

- 実施実績 有、 ○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp